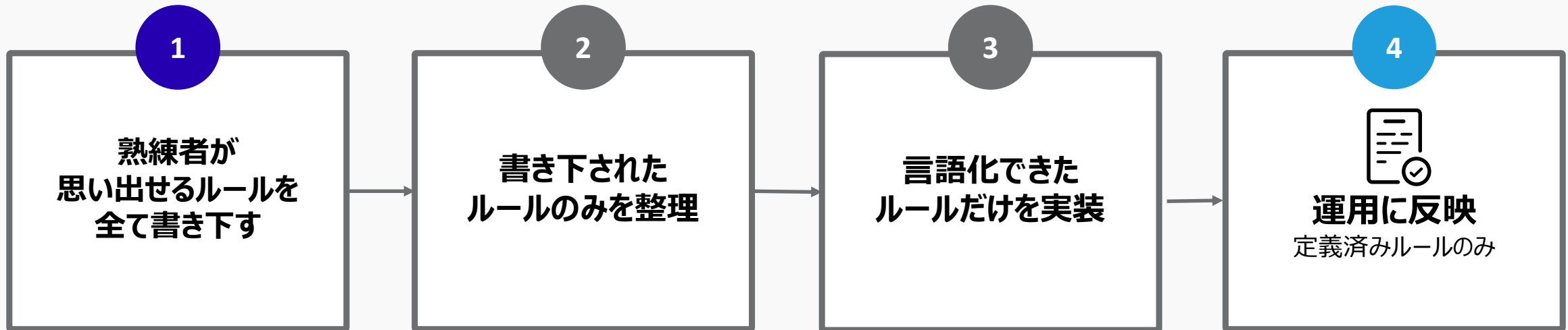


熟練者の暗黙知をAIで運用ルール化する承認サイクル

従来のルール反映フロー

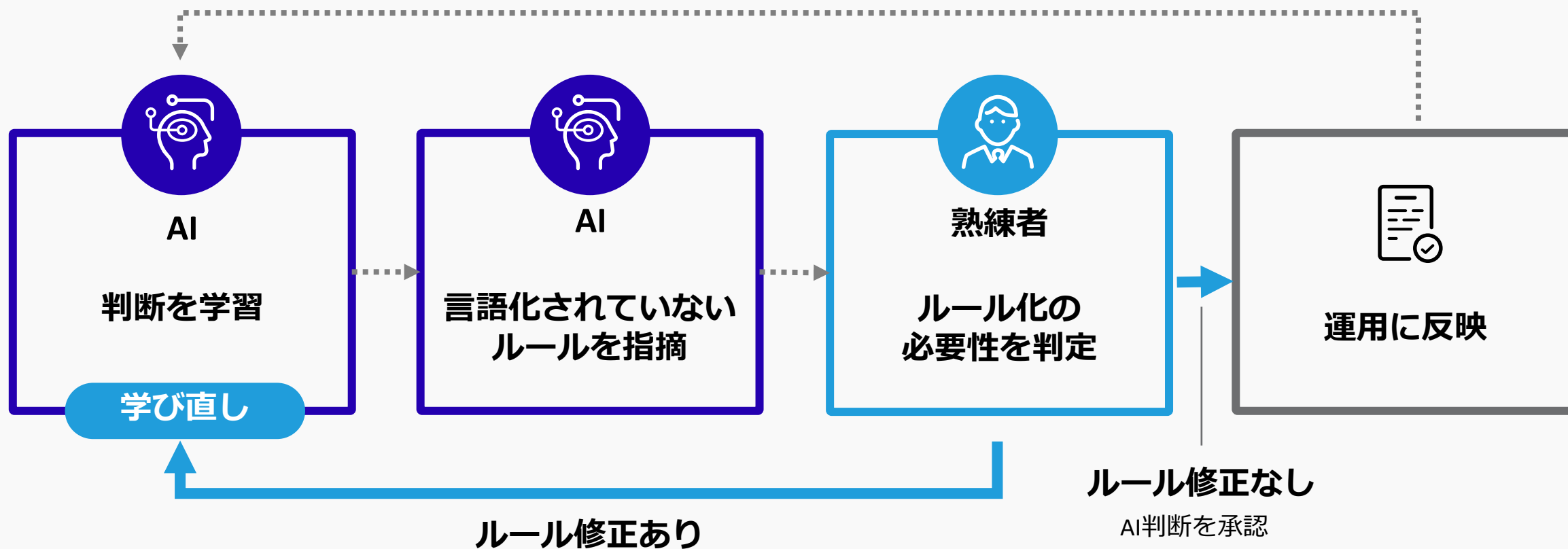
熟練者が思い出せるルールを全て書き下し、言語化されたルールのみを運用へ反映



言語化されない判断基準は、運用ルールに反映されない

熟練者の判断をAIに引き継ぐ承認サイクル

ルール修正はAIの学び直しへ、AI判断の承認は運用反映へ



過去の採否実績から商品の「選ばれやすさ」をAIが学習

企画との相性・収益性・商品属性などを比較し、選定傾向をモデル化

教師データ例：特売企画 × 商品 × 複数特徴量 × 採否

特売企画	商品	カテゴリ	価格帯	値入率	...	採否
夏カレー 焼肉フェア	バターチキン	カレー	高	3.0%	...	採用
//	焼肉たれ	調味料	中	7.1%	...	採用
//	ステーキ醤油	調味料	中	13.5%	...	採用
//	濃厚クッキー	菓子	低	14.3%	...	採用
//	コーヒーP	飲料	中	2.3%	...	非採用
//	冷凍ピザ	冷食	高	5.0%	...	非採用
	...	...	...	...	...	非採用
	...	...	...	...	...	非採用

学習
→



AIが判断傾向をスコア化

- 1 企画との相性：同一企画で選ばれた商品群
- 2 収益性：値入率の高低と採用／非採用
- 3 商品属性：カテゴリ・価格帯・季節性
- 4 その他：過去実績・在庫・販促条件など

次回特売の優先度をスコア化

AIが選定傾向からルール候補を抽出

採用／非採用の差分をもとに、確認すべき判断基準を資料化

ヒアリング資料



AIがルール候補を整理

- 1 高スコア非採用を検出
- 2 共通する条件を整理
- 3 解説文と質問文を生成

生成
→

仮説 1：直近特売後の再採用抑制

前回特売から30日以内の商品で、高スコア非採用 3,725 件。モデル上は強い候補ですが、実際には続けて採用されていません。

特売日	商品	スコア順位	前回特売日	判定
2025-07-20	ステーキ醤油	1	2025-06-29	非採用
2025-07-20	コーヒーP	3	2025-07-06	非採用
2025-07-27	冷凍ピザ	1	2025-07-13	非採用

確認したいこと

- 直近特売からの経過日数を考慮しますか？
- 考慮する場合、日数は商品カテゴリや企画種別で変わりますか？

暗黙知を確認可能なルール候補として可視化

熟練者が自然言語で回答しAIへ引き渡す

AIがルール修正・学び直しに使える情報へ変換



熟練者が回答

仮説	確認事項	回答
仮説1 直近特売後の 再採用抑制	経過日数を考慮しますか？ カテゴリで変わりますか？	同じ商品は原則4週間空ける。ただしテーマ 企画では関連商品を早めに採用する場合 がある。
仮説2 同カテゴリ商品の 重複回避	同カテゴリを複数入れる条件 は？	調味料は用途が違えば併売可。 水、茶、コーヒーはそれぞれ1点まで。

AIへ渡す
→



AIがルールを学び直す

- 1 回答文からルールを抽出
- 2 制約条件や特徴量などの
数理モデル変更を判断
- 3 次回スコアリングに接続

熟練者の自然言語回答をAIが解釈し、運用に反映する

お問い合わせ先

貴社担当営業もしくは、以下の窓口までお問い合わせください。

富士通) ソリューションアーキテクト事業本部
オフライングイノベーション統括部
FJ-FED-Retail商談窓口
contact-retailbz@cs.jp.fujitsu.com